

令和 6 年度アスベスト大気濃度調査検討会開催要綱

令和 7 年 8 月 16 日

1. 目的

「アスベスト問題に係る総合対策」（平成 17 年 12 月 27 日。アスベスト問題に関する関係閣僚による会合決定）では、「実態把握と国民への積極的な情報提供」の一環として、「大気中のアスベスト濃度測定については、実測調査を引き続き実施する」とこととされており、環境省は、アスベストによる大気汚染の状況を把握するためアスベスト大気濃度調査を行っている。

本検討会では、上記のアスベスト大気濃度調査測定結果の評価及び測定計画について検討を行い、測定結果の信頼性の確保を図るとともに、測定上の課題を検討することを目的とする。

2. 構成

- （１）検討会は、別表に掲げる学識経験者等で構成する。
- （２）検討会には座長を置く。座長は、検討会の会務を総理する。
- （３）検討会は公開で行う。
- （４）検討会の事務局は、株式会社環境管理センターに置き、庶務を行う。

3. 検討事項

検討会の検討事項は次のとおりとする。

- （１）令和 6 年度アスベスト大気濃度調査の調査結果の検証・評価等について
- （２）令和 7 年度アスベスト大気濃度調査の調査計画について
- （３）その他、測定上の課題について

4. その他

その他、検討会の運営に当たり必要な事項は座長が定める。

別表

委員名簿

(五十音順、敬称略)

貴田 晶子	元国立環境研究所 廃棄物・資源循環センター (廃棄物試験評価) 室長
小西 淑人	一般社団法人日本繊維状物質研究協会 専務理事
寺園 淳	国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 上級主席研究員
豊口 敏之	一般社団法人日本石綿対策技術協会 理事
濱脇 亮次	広島県立総合技術研究所保健環境センター 環境研究部
山崎 淳司	早稲田大学理工学術院 教授